

- syndrome patient with a common microdeletion. (Poster)
The American society of human genetics, 53th annual meeting, Toronto, Canada, 2004, 10.
- 松本直通：ヒト染色体 8 番 p23領域の最近の話題（特別講演）．第118回染色体研究会，東京，2004，6．
- 松本直通：染色体微細欠失による疾患「ソトス症候群はゲノム病である」（シンポジスト）．第49回日本人類遺伝学会，東京，2004，10．
- 松本直通，大久保愛子，三好 修，馬場是明，吉浦孝一郎，新川詔夫：新規 GATA 4 変異と完全に連鎖した家族性心房中隔欠損症の 1 例．第49回日本人類遺伝学会，東京，2004，10．
- 松本直通：単一遺伝子病の疾患ゲノム解析（シンポジスト）．第 1 回ゲノム医療シンポジウム東京，2004，1．
- 松本直通：マルファン症候群の遺伝的側面（招待講演）．マルファンネットワークジャパン医療講演会，東京，2004，11．
- 岡部とし子，鹿島勇治，堺 温哉：甲状腺ホルモン受容体を介したシグナル伝達機構及び各種化学物質の影響．第74回日本衛生学会総会，東京，2004，3．(RI)
- 岡部とし子，鹿島勇治，堺 温哉，松本直通：培養細胞を用いた有機ハロゲン化合物による甲状腺ホルモン受容体を介した遺伝子発現への影響．第 7 回環境ホルモン学会研究発表会，名古屋，2004，12．(RI)
- 長谷川淳，井関直政，鹿島勇治，松田宗明，河野公栄，脇本忠明：東京湾産カワウソにおける血中 PCBs，DDE 濃度及びリンパ球幼若化能．第13回環境化学討論会，静岡，2004，7．
- 堺 温哉，川嶋文人，鹿島勇治，下田玲子，松本直通，岡部とし子：甲状腺ホルモン受容体を介した遺伝子発現に影響を与える有機ハロゲン化合物の構造上の特徴．第 7 回環境ホルモン学会研究発表会，名古屋，2004，12．
- 長谷川淳，鹿島勇治，松田宗明，河野公栄，脇本忠明：ニワトリ発達期免疫系に対する PCBs の影響—コプラナ異性体，カネクロール混合体，水酸化代謝体の発生前曝露試験．第 7 回環境ホルモン学会研究発表会，名古屋，2004，12．

Kashima Y, Matsui M, Seike N, Sakai Y, Yamada-Okabe T:
The induction equivalency factors on xenobiotic responsible element (XRE) -mediated gene expression by 1, 3, 6, 9-and1, 3, 7, 9-TCDD in Hep G2cells. 第7回環境ホルモン学会研究発表会，名古屋，2004，12．

Kashima Y, Seike N, Matsui M, Mizukami M, Hamada N, Honda K: Interactive effect on dioxin-like activity by various pollutants in paddy soil. 第 7 回環境ホルモン学会研究発表会，名古屋，2004，12．

(研究助成金)

- 松本直通（代）：「ヒトの発生・精神神経発達異常と染色体微細異常に関する研究」平成16-17年度科学研究費補助金基盤研究（B），1,320万円。
- 松本直通（代）：「全ゲノムマイクロアレーを用いたヒトゲノム刷り込みに関する研究」平成16年度横浜市立大学研究奨励交付金，431万円。
- 松本直通（代）：「マルファン症候群 2 型の責任遺伝子単離に関する研究」平成16年度横浜総合医学振興財団推進研究助成，100万円。
- 松本直通（代）：「マルファン症候群 2 型の責任遺伝子単離に関する研究」平成16年度武田科学振興財団報彰基金研究奨励，200万円。
- 松本直通（分）：「染色体転座・微細欠失からの疾病遺伝子の単離と解析」平成12-17年度 CREST，1,030 万円。
- 松本直通（分）：「精神遅滞をきたす遺伝性疾患のリサーチ・リソースの整備と倫理に関する研究」平成15-17年度厚生労働省精神神経疾患研究委託費，150 万円。
- 岡部とし子（代）：「環境汚染物質の（抗）甲状腺ホルモン様作用を検定するバイオアッセイ系の開発」科学研究費補助金基盤研究 C（2）（平成14年度-16年度），60万円。
- 堺温哉（代）：「環境汚染物質による甲状腺ホルモン攪乱作用メカニズムの解明とバイオアッセイ系の開発」科学研究費補助金若手（B）（平成15年度-17年度），140万円。

社会予防医学（公衆衛生学）

(論文発表)

- Tochikubo O, Nishijima K: Sodium intake and cardiac sympatho-vagal balance in young men with high blood pressure. *Hypertens Res* **27**(6): 393-398, 2004.
- Yasuda G, Hasegawa K, Kuji T, Ogawa N, Shimura G, Umemura S, Tochikubo O: Peridopril Effects on ambula-

tory blood pressure: Relation to sympathetic nervous activity in subjects with diabetic nephropathy. *Am J Hypertens* **17**: 14-20, 2004.

Ohshige K, Mizushima S, Tochikubo O: Willingness to pay for a public health check up program: Assessment by the travel cost method. *Jpn J Public Health* **51**(11): 938-

- 944, 2004.
- Mizushima S, Ohshige K, Watanabe J, Kimura M, Kadowaki T, Nakamura Y, Tochikubo O, Ueshima H: Randomized controlled trial of sour milk on blood pressure in borderline hypertensive men. *Am J Hypertens* **17**(8): 701-6, 2004.
- Kosuge M, Kimura K, Ishikawa T, Shimizu T, Takakura T, Tskahara K, Tahara Y, Nozawa N, Furukawa E, Tochikubo O, Sugiyama M, Umemura S: Relation between white blood cell counts and myocardial reperfusion in patients with recanalized anterior acute myocardial infarction. *Circ J* **68**(6): 526-531, 2004.
- Okano Y, Hiraawa N, Tochikubo O, Mizushima S, Fukuhara S, Kihara M, Toya Y, Umemura S: Relationships between diurnal blood pressure variation, physical activity, and health-related QOL. *Clin Exp Hypertens* **26**(2): 145-155, 2004.
- Ohshige K: Circadian Pattern of Ambulance Use by Children in a Japanese City. *Acad Emerg Med* **11**(3): 316-318, 2004.
- 岡部敬一郎, 高山理恵, 加藤伸一, 橋本晃伸, 渡辺 篤, 岡部宗雄, 朽久保修: エンテロコッカス・フェリカス AD101株のプロバイオ・バイオジェニクス特性の基礎的研究: 熱水処理死菌体粉末を含有する清涼飲料水摂取による生活習慣病が気になりだした健常者への効果. *日本臨床腸内微生物学会誌* **1**: 49-56, 2004.
- 安田 元, 小川成章, 志村 岳, 安藤大作, 平和伸仁, 梅村 敏, 朽久保修: 本態性項血圧患者の日中活動時におけるベニジピンの降圧効果. *Ther Res*, **25**(8): 1723-1729, 2004.
- 福井唱子, 大重賢治, 朽久保修: 肥満者における夜間睡眠中の心拍数. *横浜医学*, **55**(3): 79-84, 2004.
- 山末耕太郎, 河野英一, 左近聖子, 大重賢治, 朽久保修: 家庭での塩分, カリウム摂取量測定法の検討. *日循予防誌*, **39**(3): 157-163, 2004.
- 朽久保修: 第19回日本心臓財団予防賞(日本循環器管理研究協議会賞) 受賞業績概要報告: 循環器疾患予防に役立つ各種機器の開発. *日循予防学会誌*, **39**(3): 192-196, 2004.
- 山末耕太郎, 朽久保修: 尿中電解質のコンパクトイオンメータでの測定. *臨床検査*, **48**(12): 1587-1590, 2004.
- 高山理恵, 渡辺 篤, 小鷹和久, 岡部敬一郎, 山田純子, 朽久保修: ガラクトオリゴ糖含有清涼飲料水の大量摂取と長期摂取がヒトの健康に及ぼす作用について. *日本食物繊維学会誌*, **8**(2): 111-120, 2004.
- (総 説)
- 朽久保修: “はかるだけ” ダイエット: *chou chou* No2: p35, 2004.
- 朽久保修, 岸本 文: これからの医療施設に血圧測定はどうあるべきか. *medicina* **41**(1): 15-17, 2004.
- 朽久保修: Q&A 家庭用血圧の利用における注意事項. *日本医事新報* No. 4064, 2004.
- 朽久保修: 聴診法血圧測定値の精度とバイアス. *治療学* **38**(2): 53, 2004.
- 朽久保修: 生活習慣病 Q&A: 高血圧. *朝日新聞* 20.6月19日, 2004.
- 朽久保修: 高血圧の評価と管理, 第65回定時総会時学術講演会特別講演 I. *神奈川県内科医学会会報* No. 26: 3-8, 2004.
- 朽久保修: 計るだけダイエットの法則. *ためしてガッテン* vol. 4: 14-19, 2004.
- 朽久保修: 早朝高血圧の早期発見と家庭での血圧測定のおすすめ. *きょうの健康* 4月号: 74, 2004.
- 朽久保修: テルモで始める生活医療. *文藝春秋* 5月号: 86, 2004.
- 朽久保修: 計るだけダイエット. *週刊女性* 6月8日号: 63-66, 2004.
- 朽久保修: ダイエットルポ; 図るだけダイエット. *クロワッサン* 6/25号: 18-19, 2004.
- 朽久保修: 計るだけダイエット. *ベーグル* 2月号: 36-39, 2004.
- 朽久保修: 今からの半年計画; ダイエット. *アッティーバ* 8月号: 102-103, 2004.
- 朽久保修: ○○だけダイエット10日間レポート—計るだけダイエット. *ベーグル* 8月号: 106, 2004.
- 朽久保修: 自己管理・自己評価のシステムを. *セルフメディケーション*はどうあるべきか; *セルフメディケーション*を支援する会第一回研究会より. *メディカル朝日*, **33**(8)別冊, 2004.
- 朽久保修: 創刊100号記念特集 血圧研究—血圧測定法における今後の展望—血圧, **11**(8): 130, 2004.
- 朽久保修: 患者認証へ ID リング. *ジャパンメディシン*: No. 735, 2004.
- 朽久保修: 計るだけダイエット. *サンキュ!* 11月号: No. 103, 2004.
- 朽久保修: 監修; 拝啓肥満が気になる人へ. *暮らしの手帖* 12号: 4-15, 2004.
- 朽久保修: 監修; 拝啓肥満が気になる人へ. *暮らしの手帖* 13号: 60-63, 2004.
- 朽久保修: 監修; 拝啓肥満が気になる人へ. *暮らしの手帖* 14号: 20-23, 2004.
- 朽久保修: 脂肪減らし! 寒天スープダイエット. *はつらつ元気* 12月号: 48-49, 2004.
- 朽久保修: より良い高血圧症診療を目指して—アゼルニジピンの心拍数と尿 Na 排泄に及ぼす影響とその意義—. *Physicians' Therapy Manual* 1 (7) Oct, 2004.

- 枋久保修：3分間計るだけ健康カレンダー2005。ためしてガッテン vol.7 冬号：2004。
- 川上ちひろ，枋久保修：Information up to date；サワミルクと血圧。血圧，**11**(12)：4-5，2004。
- 枋久保修，川上ちひろ，蒲浦光正：「予防医学」の再認識・将来方向・展望を考える成人健診—循環器健診。予防医学 **46**：69-72，2004。
- 枋久保修：シリーズ降圧薬（全10回連載）。福島民報，10月18日～11月19日，2004。
- 枋久保修：シリーズ降圧薬（全10回連載）。鹿児島新報，10月18日～11月19日，2004。
- 枋久保修：シリーズ降圧薬（全10回連載）。茨城新聞，10月18日～11月19日，2004。
- 枋久保修：患者取り違え防止作戦—認証用「指輪」開発。日本経済新聞 2月6日，2004。
- 大重賢治。横浜市医師会保育園医部会「予防接種実態調査」の接種勧奨効果に関する分析。横浜市医師会報，**740**：34-37，2004。
- (著 書)
- 枋久保修：糖尿病診療辞典（第2版），編集 繁田幸男，景山 茂，石井 均，分担；第14章合併症とその対策，第19章セルフモニタリング。p.437，医学書院，東京，2004。
- 枋久保修：外来診療のすべて（改定第3版），総監修 高久史磨；A 循環器疾患：リンパ肝炎，リンパ節炎。p.338-339，メヂカルレビュー，東京，2004。
- 枋久保修：最新医学別冊，新しい診断と治療のABC20，高血圧症，循環器3，編集 猿田享男，分担；第3章高血圧症の診断，血圧測定法。p.78-85，最新医学社，大阪，2004。
- 枋久保修：高血圧診療のコツと落とし穴，編集 島田和幸，分担；非薬物療法，減塩のための自己評価自己管理法。p.114-115，中山書店，東京，2004。
- 北村勝彦：シンプル衛生公衆衛生学2004 疾病予防と健康管理，南江堂，2004。
- 小城原新，才木義夫，滝澤秀浩，丹後俊郎，永野 敏，平野耕一郎，牧野国義：質問票を用いた大気汚染による健康影響調査報告書。平成15年度川崎市健康福祉局公害防止調査研究事業報告書，川崎市健康福祉局，川崎，2004，3。
- 枋久保修：NHK ためしてガッテン計るだけダイエット—効果倍増7日間健康レシピ（第1版），肥満治療指導 p4-15，アスコム社，東京，2004。
- (学会発表)
- Yasuda G, Hasegawa K, Kuji T, Umemura S, Tochikubo O: Effects of doxazosin on ambulatory blood pressure and sympathetic nervous activity in hypertensive patients with diabetic nephropathy. The 14th European meeting on hypertension, Paris, France, 2004, 6.
- Yasuda G, Ogawa N, Ando D, Shibata K, Umemura S, Tochikubo O: Effects of perinadopril on 24-h blood pressure in hypertensive patients with diabetic nephropathy. The 14th European meeting on hypertension, Paris, France, 2004, 6.
- 山末耕太郎，左近聖子，大重賢治，枋久保修：家庭での塩分，カリウム摂取量測定法の検討。第39回日本循環器病予防学会，旭川，2004，6。
- 岡野泰子，平和伸仁，松下 啓，田村功一，木原 実，戸谷義幸，枋久保修，梅村 敏：健常者の基底血圧における自律神経活動及び Health-related QOL の意義。第47回日本腎臓学会総会，2004，6。
- 岡野泰子，平和伸仁，松下 啓，田村功一，木原 実，戸谷義幸，枋久保修，梅村 敏：基底血圧における自律神経活動と Health-related QOL の意義。第6回時間循環血圧研究会，東京，2004，7。
- 林 智仁，大重賢治，枋久保修：身体活動が血圧に及ぼす影響。第6回時間循環血圧研究会，東京，2004，7。
- 岸本 文，大重賢治，枋久保修：睡眠時動脈血酸素飽和度（SPO2）と起床時血圧との関連。第6回時間循環血圧研究会，東京，2004，7。
- 枋久保修，西島聖子，川上ちひろ，大重賢治，相原公久，須藤昭一：超小型携帯式血圧計の開発とその臨床応用性。第27回日本高血圧学会，宇都宮，2004，10。
- 大重賢治，水嶋春朔，枋久保修：住民基本健康診査に対する支払い額（willingness to pay）。第63回日本公衆衛生学総会，松江，2004，10。
- 澤井明香，枋久保修：精神ストレス負荷時におけるエネルギー消費量と血圧・交感神経活性との関係。第63回日本公衆衛生学総会，松江，2004，10。
- 福井唱子，塚野京子，左近聖子，大重賢治，枋久保修：肥満者における夜間睡眠中の心拍数。第63回日本公衆衛生学総会，松江，2004，10。
- 長縄 聡，塚野京子，鈴木健之，枋久保修，北村勝彦：本邦における HIV 母子感染の疫学的研究—HIV 感染妊娠の発生動向とその背景。第63回日本公衆衛生学総会，松江，2004，10。
- 左近聖子，大重賢治，枋久保修，日台英雄，芦川和高，前田貞亮：透析医療スタッフの“燃え尽き症候群”に関するアンケート調査。第20回神奈川県透析施設連絡協議会・第68回神奈川腎研究会総会，横浜，2004，11。
- 澤井明香，枋久保修：精神ストレス負荷時における血圧・交感神経活性とエネルギー消費量の関係。第9回ファイザー循環器病研究助成「自律神経と高血圧」研究発表会，東京，2004，12。
- 大重賢治，堀 裕太，枋久保修。「小児救急搬送のサーカディアンパターン」。第14回日本疫学会学術総会，

- 山形, 2004, 11.
- 北村勝彦, 外川正生, 大場 悟, 宮澤広文, 高山直秀, 井村総一, 国方徹也, 大曾根義輝, 大久保秀夫, 葛西健郎: HIV 母子感染予防の臨床的研究—サンプル解析から推測するわが国の HIV 母子感染の実態, 第107回日本小児科学会総会. 岡山, 2004,
- 蓮尾泰之, 和田裕一, 林 公一, 稲葉淳一, 明城光三, 吉野直人, 松田秀雄, 谷口晴記, 北村勝彦, 外川正生, 塚原優己, 喜多恒和, 戸谷良造, 稲葉憲之: 本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(1), 第22回日本産婦人科感染症研究会, 名古屋, 2004,
- 塚原優己, 喜多恒和, 阿部史郎, 佐久本薫, 高野政志, 松田秀雄, 箕浦茂樹, 吉野直人, 谷口晴記, 蓮尾泰之, 北村勝彦, 和田裕一, 外川正生, 戸谷良造, 稲葉憲之: 本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(2), 第22回日本産婦人科感染症研究会, 名古屋, 2004,
- 松田秀雄, 喜多恒和, 阿部史郎, 佐久本薫, 高野政志, 箕浦茂樹, 吉野直人, 谷口晴記, 蓮尾泰之, 北村勝彦, 和田裕一, 外川正生, 塚原優己, 戸谷良造, 稲葉憲之: 本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(3), 第22回日本産婦人科感染症研究会, 名古屋, 2004,
- 谷口晴記, 外川正生, 大場 悟, 葛西健郎, 国方徹也, 高山直秀, 井村総一, 吉野直人, 松田秀雄, 蓮尾泰之, 北村勝彦, 和田裕一, 塚原優己, 喜多恒和, 戸谷良造, 稲葉憲之: 本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(4), 第22回日本産婦人科感染症研究会, 名古屋, 2004,
- 北村勝彦, 長縄 聡, 早川 智, 吉野直人, 服部里佳, 西川正能, 谷口晴記, 蓮尾泰之, 外川正生, 和田裕一, 塚原優己, 喜多恒和, 戸谷良造, 稲葉憲之: 本邦における HIV 母子感染の疫学的研究(5), 第22回日本産婦人科感染症研究会, 名古屋, 2004,
- 長縄 聡, 富田康浩, 横山 勝, 北村勝彦, 佐藤祐徳: HIV-1特定準種の中和抵抗性と定方向進化, 第52回日本ウイルス学会学術集会, 横浜, 2004,
- 横山 勝, 木ノ本正信, 徳永研三, 佐多徹太郎, 長縄 聡, 北村勝彦, 蜂谷敦子, 岡 慎一, 服部知秀, 田中真理, 横幕能行, 有吉紅也, 星野忠次, 仲宗根正, 佐藤裕徳: 計算科学の HIV-1研究への適用に関する基礎研究, 第18回日本エイズ学会, 静岡, 2004.
- 喜多恒和, 吉野直人, 和田裕一, 外川正生, 塚原優己, 箕浦茂樹, 高野政志, 北村勝彦, 谷口晴記, 戸谷良造, 稲葉憲之: 妊娠中の抗 HIV 投与による血中ウイルス量の変動と母子感染, 第18回日本エイズ学会, 静岡, 2004,
- 長縄 聡, 富田康浩, 横山勝, 鈴木健之, 白井 輝, 上田敦久, 岳野光洋, 武部 豊, 加藤佳代子, 椎野禎一郎, 朽久保修, 石ヶ坪良明, 北村勝彦, 佐藤裕徳: HIV-1 CRF01_AER5ウイルス V3配列に起因する抗体回避機構, 第18回日本エイズ学会, 静岡, 2004,
- (講演)
- 朽久保修: 第4回新横浜 IT クラスタ交流会特別講演; 無線 IC チップ (RFID) 内蔵型 ID-ring の開発とユビキタス・メディカルシステムへの応用研究. 横浜, 2004, 1.
- 朽久保修: 米沢ビジネスネットワークオフィス講演会; ユビキタスメディカルシステムによる元気なまちづくり. 米沢, 2004, 1.
- 朽久保修: 在宅医療連携シンポジウムコメンテーター; よりよい医療をめざして. 横浜, 2004, 2.
- 朽久保修: 慶応大合同カンファレンス; 血圧測定法とその評価法. 静岡, 2004, 3.
- 朽久保修: 第8回ヘルスプロモーション交流会 IN かながわ; 生活習慣病と肥満. 横浜, 2004, 7.
- 朽久保修: 国際モダンホスピタルショウ2004 IT ソリューションセミナー; ID リングの医学的応用. 東京, 2004, 7.
- 朽久保修: E ジャパン協議会; ユビキタス・メディカルシステム構築の取り組み. 横浜, 2004, 9.
- 朽久保修: コメディカル教育セッション; 高血圧患者の食事指導. 第27回日本高血圧学会, 宇都宮, 2004, 10.
- 朽久保修: 横浜市立大学健康医療フォーラム; 生活習慣病の自己評価自己管理—減塩と減量 (計るだけダイエット) 法—. 横浜, 2004, 10.
- 朽久保修: テルモコラム情報; 心筋梗塞, 脳卒中の対策法について. 毎日放送他, 2004, 12.
- 朽久保修: ヘルスプロモーション・フォーラム; 高血圧と減塩自己管理法について. 横浜, 2004, 12.
- 朽久保修: シルバー&ヘルスケアビジネス戦略特別セミナー; ユビキタス・メディカル IT システム. 東京, 2004, 12.
- 朽久保修: SSK セミナーシルバー&ヘルスケアビジネス戦略特別セミナー; ユビキタス・メディカル IT システム. 東京, 2004, 12.
- 北村勝彦: 秋田県耳鼻科医会主催; 子供の感染症について, 秋田市, 2004, 2.
- 北村勝彦: NPO エイズネットワーク横浜主催エイズボランティア養成講座; エイズとは?, 横浜市, 2004. 6.
- 大重賢治: 気象と血圧との関連に関する研究. 第1回健康天気予報アドバイザー会議, 神奈川県中井町, 2004, 5.
- 大重賢治: 気象と循環器系救急疾患発生との関連に関する研究. 第2回健康天気予報アドバイザー会議, 東京, 2004, 11.
- (研究助成金)
- 厚生労働省

朽久保修（分）：健康科学総合研究事業：国民健康・栄養調査における各種指標の設定及び精度の向上に関する研究，200万円。

北村勝彦（代）：厚生労働科学研究補助金エイズ対策事業：HIV 感染妊婦の早期診断と治療および母子感染予防に関する臨床的・疫学的研究，10万円。

文部科学省

大重賢治（代）：文部科学省科学研究補助金若手研究 B，高齢化社会における救急医療需要に関する医療経済学的分析，70万円。

山末耕太郎（代）：財団法人 日本健康開発財団：食事成分とスポット尿，血圧との関係および尿の簡易分析装置の開発と応用。平成16年，50万円。

澤井明香，朽久保修：2004年度ファイザー循環器病研究

助成：「自律神経と高血圧」，精神ストレス負荷時におけるエネルギー消費量と血圧・交感神経活性との関係，10万円。

その他

朽久保修：平成16年度研究奨励交付金：医療安全のための工学装置の開発研究，150万円。

朽久保修；横浜市立大学医学部創立60周年記念事業：21世紀の安心・安全の医療を目指す研究・活動への助成，50万円。

北村勝彦（代）：公益信託今井保太郎記念エイズ研究助成基金，消炎酵素剤プロナーゼの主成分である MEP の抗 HIV 活性とその臨床応用について 平成16年，100万円。

法医学（法医学）

（論文発表）

Nishimura A, Kurokawa K, Ikemoto K, Yamamoto Y, Rand S, Brinkmann B: Ultrastructural Characteristics of the carbohydrate deposits detected in the molecular layer of the dentate gyrus in the hippocampal formation of patients with schizophrenia. *Acta Crim Japon*, **70**: 11–15, 2004.

Abe R, Shioiri T, Nishimura A, Nushida H, Ueno Y, Kojima M, Kitamura H, Akazawa K, Someya T: Economic slump and suicide method: A preliminary study in Kobe. *Psychiatry Clin Neurosci*, **58**(2): 213–216, 2004.

Aoki N, Nishimura A, Pretto EA, Sugimoto K, Beck JR, Fukui T: Survival and cost analysis of fatalities of the Kobe earthquake in Japan. *Prehosp Emerg Care*, **8**(2): 217–222, 2004.

藤原 敏，柳澤綾子，佐藤秀則，津藤有子，小出浩平，西村明儒：β-APP (β-amyloid precursor protein) 遺伝子発現解析による DAI 診断とその法医学鑑定への応用。法医学の実際と研究，**47**: 85–90, 2004。

佐藤雄一郎：提供意思—提供先の指定および本人に能力がない場合の提供について—。ジュリスト，**1264**: 22–27, 2004。

南部さおり，藤原 敏，佐藤雄一郎，佐藤秀則，西村明儒：証拠価値ある法医学鑑定に向けて—「鑑定資料の範囲」を中心とした考察から。犯罪学雑誌，**70**(3): 65–75, 2004。

南部さおり：病気が犯罪か？—代理人によるミュンヒハウゼン症候群についての最近の議論と事例—。犯罪学雑誌，**70**(6): 180–197, 2004。

南部さおり：「症候群」としての児童虐待と「代理人によるミュンヒハウゼン症候群」—医学的「症候群」証

拠の意義と刑事裁判—。犯罪社会学研究，**29**: 96–111, 2004。

（総 説）

佐藤雄一郎：診療報酬減額分請求認容事件。年報医事法学，**19**: 202–207, 2004。

（著 書）

西村明儒，龍野嘉紹，松村武男，Ana Margarita Paz，上村春樹：Chagas 病による心筋症の一部検例。症例からわかる臨床寄生虫学，日本臨床寄生虫学会編，医学図書出版，22–5, 2004。

佐藤雄一郎：医療者と患者の間の医療情報。宇都木伸・菅野純夫・米本昌平編，人体の個人情報，初版。日本評論社，60–82, 2004。

（学会発表）

相原弼徳，西村明儒，佐藤秀則，佐藤雄一郎，藤原 敏：老衰死の実態。第88次日本法医学会総会，旭川，2004, 6。

佐藤秀則，西村明儒，佐藤雄一郎，堀池多映子，山本祐子，相原弼徳，藤原 敏：大規模災害を想定した熱損傷組織に対する PCR。第88次日本法医学会総会，旭川，2004, 6。

中村千恵，長崎 靖，主田英之，西村明儒，上野易弘：神戸市における「孤独死」の変動。第88次日本法医学会総会，旭川，2004, 6。

青村 茂，森 昭吾，清水暁央，藤原 敏：外部衝撃による脳損傷の生成メカニズムの解明に関する研究。第16回バイオエンジニアリング講演会，北九州，2004, 1。

青村 茂，田中伸明，藤原 敏：外部衝撃による脳損傷予測に関する有限要素解析と基礎実験。第9回日本計